

環境報告書 2021



ユニオン ツール株式会社



目次



環境方針	2
事業活動に伴う環境負荷	3
2020年度目標と活動実績	4
省エネルギー化の取り組み	4
グリーン調達の取り組み	5
環境教育の取り組み	6
地域貢献活動	6
クリーン作戦	6
仲道郁代氏ピアノリサイタル	6
イルミネーション	7
今後の取り組み	8
環境会計	9
お問い合わせ先	10



ユニオンツール(株)

環境方針

基本理念

自然を愛し、人を愛する企業活動を通じて、豊かな地球環境づくりに貢献する。

基本方針

当社長岡工場及び見附工場（以下当社工場という）は、ISO14001規格に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、以下の方針に基づく環境保全活動を行うことにより、地域及び地球環境と企業活動の調和に努める。

1. 当社工場の活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で目的、目標を定めて環境保全活動を実施する。
2. 環境目的、目標を定期的に見直すことにより環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善を図る。
3. 環境関連法規、条例及び当社工場が同意するその他利害関係者からの要求事項を順守し、更に可能な範囲で自主基準を定め、環境汚染の予防に努める。
4. 当社工場の活動、製品及びサービスに係わる環境影響の中で、次の項目を重要テーマとして取り組む。
 - 1) 省エネルギー化の推進
 - 2) グリーン調達への推進
 - 3) リサイクル化の推進
 - 4) 省資源化の推進
5. 環境方針は、環境マネジメントシステムにより実施、維持すると共に経営者が当社工場で働く全ての人に周知徹底する。
6. 環境方針は、社外に公開する。

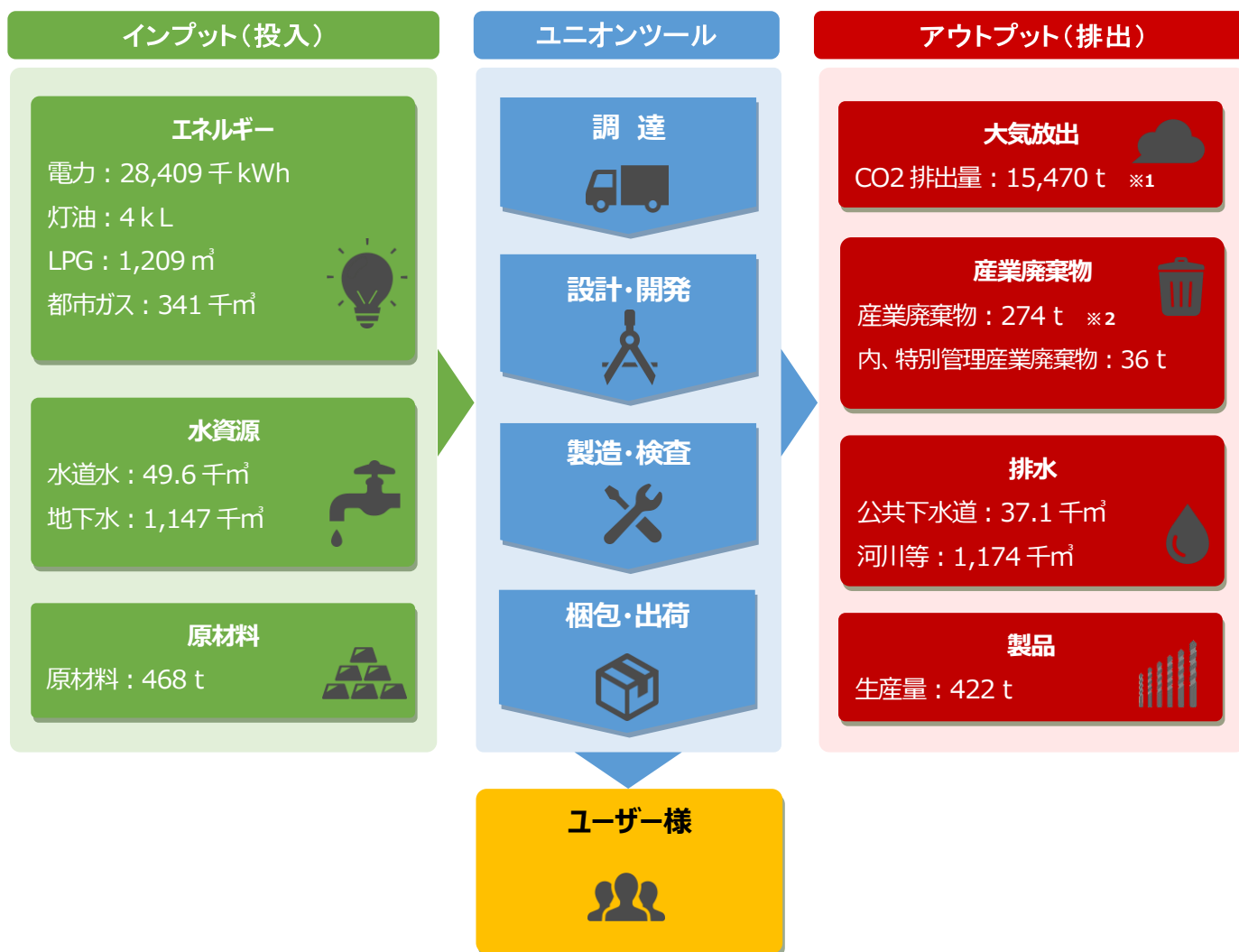
2014年 2月 25日
代表取締役社長 大平 博



◆ 事業活動に伴う環境負荷

当社は、事業活動に伴って発生する環境負荷をインプット～アウトプットにわたって把握・監視することにより、効果的な環境負荷低減活動が行えるよう努めています。

インプットの中で注目されるエネルギーの使用量に関しては、特に CO2 の排出割合が全体の 9 割以上を占める電力について重点を置き、積極的に省エネ活動を行うことにより CO2 排出量の削減を進めています。



☆各数値の集計期間は 2020.1～2020.12 とし、数値は長岡工場・見附工場の合算となっています。

※1 CO2 排出量:「エネルギー使用の合理化等に関する法律施行規則」に基づき換算

※2 産業廃棄物量:「産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニフェストの普及について」に基づき換算
(環産産発基 061227006 号)



◆ 2020 年度目標と活動実績

2020 年度も環境方針の重要テーマである省エネルギー化、リサイクル化、省資源化に基づき、目標を立て活動を行いました。

省エネルギー化については前年度の使用量の 1%削減を目標として取り組みを進め、長岡工場、見附工場共に目標を達成することができました。

リサイクル化については製品ケースの再使用を推進しています。周囲の状況の変化に伴った効率化・採算性を考慮した形で取り組みの手法を検討しながら実施しました。

省資源化については製造設備の開発により新たな省資源工具・長寿命工具の開発・改良を進め、より多くのお客さまに認めていただける製品となるよう引き続き追求していきます。

2020 年度目標と活動実績

項目	推進内容	2020 年度目標	2020 年度実績	評価	頁
省エネルギー化	2024 年度までに 単位生産エネルギー使用量 (※1) を 2019 年度比 5%削減	2019 年度エネルギー使用量の 1%相当を改善により削減	【長岡】 2019 年度エネルギー使用量の 3.2%削減	◎	4
			【見附】 2019 年度エネルギー使用量の 2.0%削減	◎	4
リサイクル化	ドリルケース再使用の推進	ドリルケース回収量の 調査及び管理	継続的な回収・再生体制の構築完了、維持監視	○	-
省資源化	工具の長寿命化	長寿命工具の開発 3 件	長寿命工具の開発 3 件	○	-
		工具用膜の開発 2 件	工具用膜の開発 2 件	○	-

【評価】 ◎：目標を大幅に達成 ○：目標を達成 △：目標をほぼ達成 ×：目標未達成

※1：「単位生産エネルギー使用量 (kL/千本)」＝「原油換算エネルギー使用量 (kL)」÷「切削工具の生産本数 (千本)」

◆ 省エネルギー化の取り組み

2020 年度は各工場とも「2019 年度エネルギー使用量の 1%削減」を目標に設定し、省エネ活動に取り組みました。長岡工場では対策により 2019 年度使用量の 3.28% に値するエネルギー量を削減、見附工場でも 2.06% に値するエネルギー量を削減し、ともに目標を達成することができました。

工場付帯設備としては 2014 年から照明の LED 化を開始しており、長岡工場においては 2020 年度に特殊な用途で使用する場所を除き照明器具の更新を完了させました。見附工場においても 2022 年完了を目標に LED 照明器具への更新を進めています。また、空圧設備の電力使用量削減対策として、コンプレッサの使用台数をエアの使用状況にあわせて制御する仕組みを導入しました。

製造メーカーとして常に課題となる生産性の向上については、技術部門で高効率の設備開発にも力を入れ取り組み、省エネルギー化に繋げています。今後も幅広い視野のもと、効率の良い生産活動が継続して行えるよう努めていきます。



▲LED に変更した水銀灯



▲コンプレッサ同士を通信させて制御

◆ グリーン調達の取り組み

地球環境保全と環境負荷低減に配慮した製品をお客さまに提供していくためには、環境に配慮した材料・部品等を積極的に採用していく必要があります。当社では欧州のRoHS指令をはじめ、世界的に拡大していく化学物質関連の法規制に対応し、お客さまが安心して使用できる製品を提供できるよう、グリーン調達ガイドラインを定め、それに基づく調達活動を行っています。

また、製品の有害物質情報について技術設計部門や資材購入担当部門、調達先が連携して、切削工具と直線運動軸受の全材料、部品、梱包材等における環境関連有害物質の含有状況を調査し明確にしています。



今後も製造から使用、そして廃棄まで、製品のライフサイクル全体を通じてより環境への負荷が少ない物づくりを目指していきます。

皆さまのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

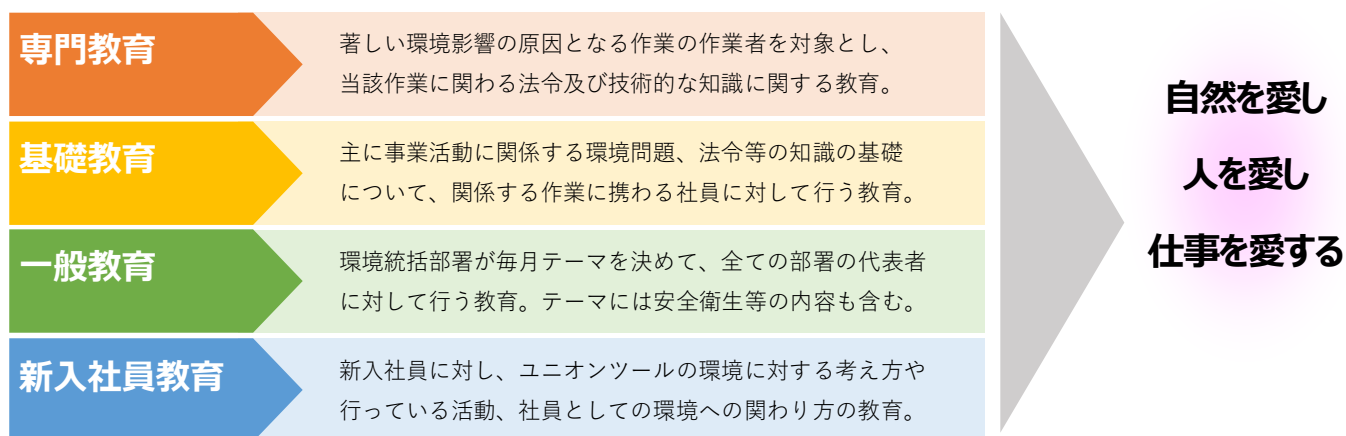
◆ 環境教育の取り組み

当社工場では環境統括部署が主体となり、環境に関する意識高揚と知識の習得を目的として社員に継続的に教育を行っています。

教育体系は目的に合わせて4つあり、入社直後の「新入社員教育」に始まり、毎月さまざまなテーマで実施される「一般教育」、事業活動に関連するテーマを掘り下げる「基礎教育」、更なる専門性へと導く「専門教育」と、内容もレベルアップしながら教育を体系的に進めています。

「一般教育」では参加者にアンケートを実施し、テーマ選定、講師のレベルアップ等の参考にし、ブラッシュアップを図っています。

これらの環境教育は、“自然を愛し、人を愛し、仕事を愛する”という社風を守り続ける人材の育成につながっています。



● イルミネーション

長岡工場では毎年クリスマスの時期にあわせて社員がデザインから製作までを行い、イルミネーションを点灯しています。

2020年で3回目となるイルミネーション点灯式は同年12月1日に行いました。当日は天候にも恵まれ、和やかな雰囲気のなか、屋外で素敵な点灯式を行うことができました。

2020年は新型コロナウイルスと闘う医療従事者の方々へ感謝の気持ちを込め、全体的に青をベースとしたデザインとし、毎年恒例の大きなツリー、トンネル、当社製品である心拍センサのキャラクターを配置しました。またコロナ禍においてやむを得ず中止となった長岡大花火大会の雰囲気を少しでも市民の皆様感じていただきたいという願いから、工場のある長岡市の代名詞とも言える大花火をかたどったイルミネーションを例年よりも多く配置し、BGMとして長岡甚句を流しました。

ご来場いただいた方々には曲と光との融合を楽しんでいただけたことと思います。

社員を癒す目的で1995年から始めたこのイルミネーションは、2020年で26回目を迎え、一般の方々からも、暖かいお手紙やメッセージをいただいております。装飾には環境に配慮しLED（約40,000個）を使用しています。



◀ 2020年イルミネーションの全景

◆ 今後の取り組み

2021 年度の目的・目標のうち省エネルギー化については 2019 年度をベースとし、5 ヶ年で 5% の単位生産エネルギー使用量削減を中長期の目標として継続的に取り組みます。

省資源化の課題については、工具の長寿命・高効率化をさらに進め、お客さまの求める品質を追及し、同時に環境へも配慮した製品の開発を積極的に進めていきます。

2021 年度の取り組み

項目	推進内容	2021 年度目標
省エネルギー化	2024 年度までに単位生産エネルギー使用量（※1）を 2019 年度比 5% 改善	2020 年度エネルギー使用量の 1% 相当を改善により削減
省資源化	顧客の省資源化	高性能工具の開発 3 件

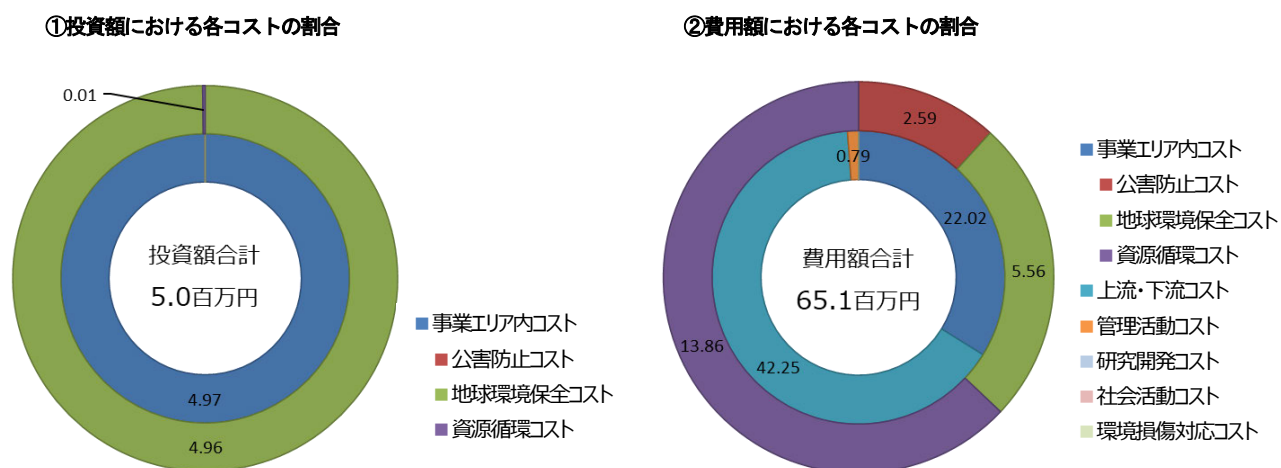
※1：「単位生産エネルギー使用量（kL/千本）」＝「原油換算エネルギー使用量（kL）」÷「切削工具の生産本数（千本）」

◆ 環境会計

2020 年度 環境会計集計結果

- ・対象範囲：ユニオンツール株式会社 長岡工場・見附工場
- ・対象期間：2020 年度（2020 年 1 月～2020 年 12 月）

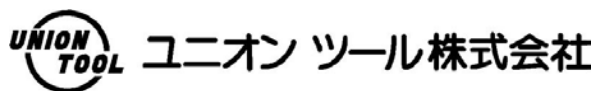
□環境保全コスト（単位：百万円）



※投資額の減価償却の方法は、投資の効果が発現する期間を算定することが困難であるため、投資年度に全額償却することとしています。（また、自社製設備導入の際の一部部品購入等に関する投資額は計上しておりません。）

□環境保全対策に伴う経済効果（単位：百万円）

項目	金額	主な取り組み内容及びその効果
収益	75.6	リサイクルに伴う有価物の売却益等
費用削減	10.2	ドリルケース再利用による新品購入費の削減等
合計	85.8	



【本社】

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-17-1

TEL 03 (5493) 1001

FAX 03 (5493) 1002

環境報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【長岡工場】

〒940-1104

新潟県長岡市摂田屋町字外川 2706-6

TEL 0258 (22) 2620

FAX 0258 (22) 0045

長岡総務課 担当：米山

E-Mail yoneyamao@uniontool.co.jp

発行年月 2021 年 6 月

次回発行予定 2022 年 6 月

※本報告書は 2020 年度（2020 年 1 月～2020 年 12 月）のデータを中心にまとめています。

※一部のデータに関して、長岡工場及び見附工場の値が合算されているものがあります。

また最新情報の提供のため、一部の内容に関しては、2020 年 12 月以降のものも含まれている場合があります。